

ほんごう一彦 県政報告

令和4年今年1年を振り返って

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応について

令和4年1月に、全県にまん延防止等重点措置が適用され、飲食店等に対し営業時間の短縮や酒類の提供停止等について要請しました。また、新型コロナウイルスのオミクロン株B A. 5系統への置き換わりに伴い、感染者が7月以降全国的に急増し、本県では8月に「医療非常事態宣言」と「B A. 5対策強化宣言」をそれぞれ発出いたしました。

この間、「病床使用率の抑制」と「外来診療の負担軽減」に取り組み、ワクチン接種の更なる推進、確保病床の増床、高齢者施設等への検査キットの配布、新たな宿泊療養施設の開設などに取り組みとともに、重症化リスクが高い方を守るための行動を県民の皆様にお願ひし、「みなし陽性(臨床診断)」の導入や「若年若症者登録センター」の設置などを進めるとともに、重症化リスクが低い方に対しては自宅での健康観察や自己検査の活用を呼び掛けてまいりました。

9月26日から陽性者の全数届出の見直しが全国一律で実施されるなど、新型コロナウイルスへの対応は大きく変わり、本県では「若年若症者登録センター」の対象年齢の拡大やかかりつけ医等に自宅療養者が直接相談・受診する体制への移行など、季節性インフルエンザとの同時流行も想定しながら、次の大きな波に備えた新たな体制構築を進めております。

ワクチン接種については、10広域全てにおける県接種会場の設置や、高齢者施設への巡回接種、ワクチン接種バスの運行などにより、市町村と協力して接種促進に取り組んでおり、3回目及び4回目接種率はともに全国の中で上位となっております。引き続き、オミクロン株対応ワクチンにつつまして、県民の皆様へ接種を呼び掛けてまいります。

(2) 信州まつもと空港の利用促進について

神戸線復便化、那覇空港へのチャーター便運航など、信州まつもと空港の活性化が図られているところであり、福岡、新千歳等の定期便利用率も令和4年9月時点で前年比、利用者数は9830人(28.7%)の増加とV字回復を見せており、特に福岡便が好調で、利用者数は3276人(96.6%)の増加となっております。

今後も、県外での利用促進に向けたイベントの開催や各種補助金の支出、施設整備等の利用促進に向けた取り組みを積極的に行うなど、withコロナ、afterコロナを見据えた空港の活性化に引き続き取り組んでまいります。

(3) 焼岳の噴火警戒レベル2への引き上げ

気象庁は、5月24日に、微少な火山性地震が40回以上観測されたことから、想定火口域からおおむね1キロの範囲に影響を及ぼす噴火が発生するおそれがあるとして、焼岳の噴火警戒レベルを「1」から「2」に引き上げました。

これを受けて県では、火山防災計画に基づき、県警へりによる登山客への下山の呼びかけ、登山口における状況確認、ホームページやSNS等による情報発信、情報板の表示、各バスターミナル、上高地公園線入口ゲート看板設置等の対応を実施しました。7月12日に、レベルが「1」に引き下げられましたが、引き続き、自治体等各機関で構成する火山防災協議会を中心に、火山防災対策に取り組んでまいります。

(4) 次期森林づくり県民税を活用した脱酸素社会構築と林業振興推進

長野県森林づくり県民税は、令和4年度末までの第3期の課税期間において、一定の成果を上げることができました。令和5年度からの次期森林税については、松本地域においても、みんなで支える森林づくり松本地域会議や県民説明会の開催を通じて議論や意見聴取等を行ってまいりました。本県の森林の多くが伐採適齢期を迎え、森林更新を図る主伐・再造林の推進と若い森林による2050ゼロカーボンの実現が喫緊の課題となっていることなどから、県民税を活用した主伐・再造林等による脱酸素社会構築と林業振興を進めてまいります。

(5) 青木峠バイパスの事業促進について

松本と上田地区を結ぶ主要東西路線(国道143号)の最後の課題である青木峠バイパスは、国の交付金事業として採択され、現在、工事着手に向けた調査及び詳細な設計が進んでいます。

(6) 幹線道路の整備促進について

中部縦貫自動車道は北陸と首都圏を結ぶ高速道路ネットワークを形成する国家事業の一部であり、松本市がその中心に位置する極めて重要な高規格幹線道路であります。県内の全線実現に向け、積極的な活動をしてまいります。

また、国道158号の奈川渡改良は工事が進められ、狸平地先はトンネルの掘削に着手いたしました。これらの事業の早期完成に向け努力いたします。

(7) 松本城の世界遺産登録に向けて

文化庁では世界遺産登録候補の文化財が記載される暫定一覧表の見直しに着手しており、世界遺産登録暫定リストへの登録をめざして、犬山市、松江市との連携を支援するなど、積極的に活動してまいります。

(8) 東筑摩郡の活力ある地域づくりをめざして

特色ある村づくりを実施する5村の農業の再生を軸に、withコロナ、afterコロナによる地方回帰の動きを捉えた首都圏等からの移住促進による人口減少対策、道路整備、滞在型観光の振興等、小規模自治体の更なるコンテンツの充実に努力してまいります。

(9) 上高地・梓川の河床上昇対策について

令和4年3月に「上高地河川上昇対策検討会」により「上高地における河床上昇対策の基本的な考え方と実施方針」が策定されました。県では、河川内の堆積土除去を着実に進めており、引き続き、松本市をはじめ、国土交通省、環境省、林野庁、文化庁とも連携を取りながら、上高地 梓川の河川上昇対策に取り組んでまいります。

(10) スポーツ振興について

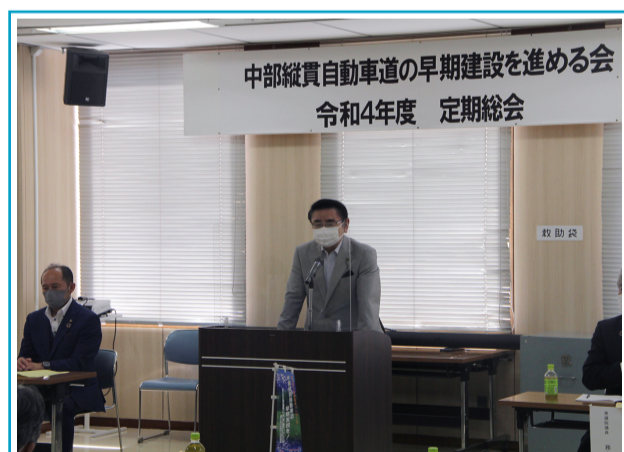
令和10年に開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会において、開・閉会式会場となる松本平広域公園の陸上競技場は約130億円をかけて、現在設計作業が行われており、令和5年度から建設工事に着手する予定です。
また、サンプロアルウィンについても長野県公園施設長寿命化計画に基づいた設備の更新・補修に努めてまいります。

(11) 松本市の更なる進化をめざして

県のAI活用/IoTデバイス事業化・開発センター等も活用し、5G化も見据えて商工業・農林業のAI・IoT化と振興を図ってまいります。

また、令和6年秋竣工予定のJR村井駅の駅舎及び周辺整備により松本市南部の副都心のインセンティブを推進するなど、各分野において戦略的政策を造形してまいります。その為に県・松本市・東筑摩郡5村との連携を一層密接にしていく決意でありますので、皆様のご理解とご協力を心よりお願い致します。

政務活動レポート



中部縦貫自動車道の早期建設を進める会総会に出席し挨拶をする。



今年で20年を迎える御徒町七夕祭りに参加。願いを込めて笹に短冊を飾る。



総務企画警察委員会にて伊那市自動運転バスを視察する。



長野県自衛隊殉職隊員追悼式に参列。



エクセラン高校創立70周年記念式典にて、理事長として挨拶する。



長野県栄養士会の皆様と意見交換を行う。